

## 日高水産学園「ひだかのお魚をもっと食べよう」プロジェクトの 「日高管内漁業士会の出前授業」を開催

平成 25 年 12 月 12 日、日高管内漁業士会は浦河町の荻伏小学校で 1、2 年の低学年 25 名を対象に、日高を代表する「ホッキ、タコ、ツブ」漁業の漁獲方法や生態について、北海道水産会と共催で出前授業を開催しました。

日高管内漁業士会としては、初の魚食普及事業の試みで、一同張り切って講師を買って出ました。

当日は、漁業士会事務局の日高振興局水産課と水産技術普及指導所のスタッフが支援して、生きたホッキやタコ、ツブの展示、漁具の扱いなどを強力にサポートしていただきました。



ツブやタコに興味津々



みんなに触られタコもコタ・コタでーす



根井会長が講師です

一方、本日の学校給食のメニューは、管内で水揚げされた魚介類を利用した味噌汁仕立ての「日高汁」を取り上げて、講師陣を含め授業参加者一同が生徒達と一緒に給食をいただきました



漁業士さんを交え給食です



大人は完食、子供は？

生徒のお代わりは少なかったものの、大変おいしい「日高の味」を堪能した様子でした。今後も継続して給食に取りあげられることを願っております。